

第2回 看護管理カンファレンスから

各施設におけるグループメンバー(スタッフ)のアイデアや意見を引き出し、
効果的にチームを率いる看護組織リーダーの役割の明確化
- Design の段階までの進捗状況から -

7月24日、晴天の土曜日、第2回看護管理カンファレンスを開催しました。第1回目からご参加の方に加えて、初めてご参加の方3名を含めた看護管理者とスタッフの方12名、計6施設が参加されました。今回は、導入編以降、参加者の方が各施設で取り組まれた実践過程の報告会であり、新たな学びを発見し、共有することを目標としていました。

前回、5月の第1回目研修会以降、参加者の方は、自施設での取り組みへの準備をされてきました(右図)。今回の研修会では、参加者の方々が自施設の中でファシリテーターとして関わり、その取り組み過程の中で、組織内のメンバー(スタッフ等)の以下のことを中心に着目してきました。

メンバー(スタッフ等)の「モチベーション」の変化
メンバー(スタッフ等)の「行動」の変化
メンバー(スタッフ等)の「関係」の変化

各自が観察してきたことについて、3つのグループに分かれ、進捗状況を報告し合いました。

その中で、メンバーのアイデアや意見を引き出し、効果的にチームを率いる看護組織リーダーの役割が明確になるよう、ディスカッションで情報交換を行いました。最終的なグループ発表では、AIに取り組む過程での困難さの一例が紹介され、みんなで知恵を搾り出す一幕もありました。

第2回看護管理カンファレンスまでの取り組み過程



グループワークの中では、現在の取り組み状況の報告と平行して、自己の理想の組織や夢を語り合う場面もありました。参加者同士で自分に起こったモチベーションや行動の変化を織り交ぜて報告しあいながら、今後の課題を明らかにして、各組織で引き続き活動を展開される予定です。

次回は、引き続き進捗状況を報告しあいながら、市瀬先生に「実現可能性の高いプランニングを遂行する為の看護組織リーダーの活動と成果の評価のあり方」をご講義いただき、理想の組織の実現に向けて取り組んでいきます。

* 第3回からご参加の方で、ご質問などございましたら、どうぞ、お尋ねください。

日本赤十字広島看護大学 看護管理カンファレンス
代表 新道 幸恵 事務局担当 村田由香 吉田和美
Email murata@jrchn.ac.jp ky11086@jrchn.ac.jp
TEL/FAX 0829-20-2869(村田) 0829-20-2877(吉田)